

平成31年度基本方針・事業計画  
(ドラフト)

# 保育宣言～美しい保育者として～

私たちは保育者として

責任と誇りを持ち

仁愛と倫理を重んじ

日々、自己の研鑽を行い

子どもたちの健やかな成長と

希望に溢れた未来への

礎となることを誓う。

# 保育宣言 ～美しい保育者として～

わたしたち ほういくしゃ せきにん ほこりもち  
私たちは保育者として責任と誇りを持ち

じんあい りんり おもんじ  
仁愛と倫理を重んじ

ひび じこ けんさん おこない  
日々、自己の研鑽を行い

こども すこやか せいちょう きぼう あふれたみらい  
子どもたちの健やかな成長と希望に溢れた未来への

いしずえ ちかう  
礎となることを誓う。

## 【解説】

### 保育者として責任と誇りを持ち

どんな職務においても大切なのは「責任」と「誇り」である。特に「人づくり」においては理念を掲げ、それに向かって行く自分に課せられた使命を認識しなければならない。そしてその使命には「自分しか出来ない、自分がやらなければならない」という「責任」と一人の人格形成行っているということ、ひいては未来の世界を担う子どもたちの育成を行っているということに「誇り」を持って取り組むべきである。

### 仁愛と倫理を重んじ

子どもは親や周りの大人を手本として成長する。保育者だけでなく全ての大人は人として仁愛（寛容な心で相手を思いやる心）と倫理（人としての生き方）を絶対に重んじなければならない。他者を思いやる心で接し、人としての生き方を伝えていくことが私たちの最大の義務であり責任である。

### 日々、自己の研鑽を行い

教育とは人が変わることである。子どもたちへ前進的な成長の要素を与える前に保育者自身が様々な知識・情報を得て多様な経験を積むことで日々、研鑽し自己の積極的な変化の創造を生み出さなければならない

### 子どもたちの健やかな成長と希望に溢れた未来への

私たちの職務は第一に子どもの安全を確保し、心身ともに健やかな成長を援助することである。しかしながら子ども達の生命・成長を見ていけば良いのではない。子ども達の成長環境の基盤となる「家庭」を支え、子ども達が過ごしていくであろう地域社会や世界のより良い姿こそ、子ども達にとっての希望に溢れた未来であり、その実現を目指して活動していくことが保育者としてまた一社会人としての使命である。

### 礎となることを誓う

ここに記した宣言のもとに賛同し、行動する大人が一人でも増えれば、必ず理想とする子ども達の環境が実現する。10年、20年、たとえ私たちの生きているうちにその成果を見ることができなくても子どもたちの最善の利益が理想の形となる日まで活動しなければならない。

# 先生たちのお約束

## 三大禁句

- 一、 わかりません
- 一、 知りません
- 一、 できません

## 五つの「ない」

- 一、 休まない
- 一、 怒らない
- 一、 せかささない
- 一、 おどさない
- 一、 言い訳しない

ちむぐる

## 肝心（こころの良さとは）

- 一、 優しさ
- 一、 親切さ
- 一、 寛大さ

## 社会福祉法人 日の出福祉会の目的（定款抜粋）

（目的）

第1条 この社会福祉法人（以下「法人」という。）は、子どもたちの人権と保護者の意向を尊重し、安全な保育と多様な教育を総合的に提供することにより、子どもたちの健やかな心身を育成するとともに、将来に渡り子どもたちが、個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるような最善の利益の増進を図り、地域社会の発展、国家並びに世界の繁栄と平和に寄与することを目的として、次の社会福祉事業を行う。

### 社会福祉法人 日の出福祉会の始まり

昭和49年 船橋市で農業を営む小山良平・喜代夫妻が大東亜戦争敗戦と戦後の復興を経験を踏まえこれからの日本に残すべきものは何かと模索した時、子どもたちにより良い育ちと学びの場を創り続け、これからの未来を切り開く人材の育成であることであるとしました。

子どもたちは幾多の成功や失敗といった経験を繰り返し、成長していく。子どもたちには成長の種となる原体験の場が必要であり、様々なものに興味関心をもち感性を養う機会をつくっていかねばならない。そして、子どもたちを取り巻く環境にどんな困難が立ちまわろうともそれを乗り越えていこうとする気概を持った保育者が必要なのである。

苦難を乗り越えるには容易なことではない。しかし諦めず続けることでいつか必ず道は開けるのである。どんなに暗く、冷たい夜でも必ず陽がまた登るように。

私たちは常に子どもたちの進むべき道を光で照らし、歩み続けられるように温もりを与え続けていく。それが日の出福祉会である。

## 2016-2020 中長期ビジョン

### 「和」国柄に基づく人材育成

社会は様々な矛盾や両極のある考え方で成り立っている。自己と公共、利潤追求と社会貢献、保育で言えば子どもの最前の利益と保護者の就労支援、様々、両極に相対するものを抱えながら私たちは生きている。

社会のルールや取り決めとして一定の線引きをしてはいるものの、白と黒のステレオタイプだけでは考えてはいけないのが社会である。相反し、両方とる事が難しいとは理解しつつも、新しい可能性を探り、0.1%でも理想に近づける事をしなければ未来は発展しない。私たちは人を育て、人の生活を支援していく仕事である。マニュアル通りの仕事だけがしたいものはここには必要ない。

## 法人基本理念（法人として最終目的）

ばんこくしんりょう  
万国津梁

解説：世界の架け橋という意味である。より良い保育と教育環境の創造を通じ地域社会の発展と国家の繁栄、世界平和に寄与する。

## 法人教育・保育理念（子どもたちを育てる上で軸にすること）

「和」の精神性と国際競争力を兼ね備え、時代を美しく先駆ける日本人の育成

## 保育目標（目指すべき子どもたちの姿）

- ① 元気の良い挨拶ができる子になる
- ② 健康な体づくりをする
- ③ 規律ある習慣を身につける
- ④ 豊かな情操を育てる
- ⑤ 相互理解できる国際性を養う

## 保育方針（保育目標を達成するためにとるべき保育の在り方）

- |                          |       |
|--------------------------|-------|
| 1. 毎日がワクワクする笑顔あふれるお部屋    | 保育    |
| 2. 常に相手を思いやる心を育む生活と学習    | 守礼    |
| 3. 幼児期に必要な身体能力を養う体育と運動遊び | 体育    |
| 4. 美的感覚と想像力を養う音楽と読書      | 音楽・読書 |
| 5. 好奇心と創造力を育てる「あそび」      | 遊び    |
| 6. 他国の正しい文化を学び認め合う国際学習   | 国際性   |
| 7. こころとからだをつくる食の提供       | 給食・食育 |
| 8. 一期一会の出会いを大切にした行事      | 参観・旅育 |

## 6つのおやくそく（おともだちのおやくそく）

- ・やさしくしてくれたひとにはありがとうといます。
- ・おうちのひとやせんせいのいうことをききます。
- ・おともだちとなかよくします
- ・ちいさいおともだちにはやさしくします
- ・なんでもいっしょけんめいにやります
- ・わるいことはしません。

## 食育目標

1. 好き嫌いをせず食べ物に感謝できる
2. 本物の食の味を知ることによっていいもの、悪いものの選択ができる
3. 感謝をして食べることができる
4. みんなでご飯を食べることの気持ちをたいせつにする
5. 日本の食文化を知る

## 食育方針

1. 子どもたちの成長に良い食材の使用
2. 給食が好きになるようになる調理
3. 楽しい雰囲気ですることのできる環境づくり
4. 季節感と文化を感じる行事食の提供
5. 食に興味を持てる食育事業
6. 家庭内の楽しい食環境づくりの支援

## スローガン

三咲小鳩保育園	「明るく元気な小鳩たち」
アリスなかよし保育園	「今日の笑顔が出発点」
船橋あおぞら保育園	「青空へ GO! JUMP!」
ククルなかよし保育園	「こころの一步を、未来の道へ」
美しが丘保育園	「未来へつなぐこころのレール」
ゆいまーる保育園	「つながる心を明日へ結ぶ」

## 年中行事

4大行事（春の親子遠足、夏祭り、運動会、生活発表会）を中心に各園ごとに決定する。

## 幼児部教育事業

体育指導	対象は3歳～5歳時 毎週月曜日 10:00～
英会話教室	対象は5歳児 毎週木曜日 11:00～
茶道教室	対象は5歳児 毎月1回 10:00～
音体教室	対象は5歳児（エイサー） 毎月1回 10:00～

## 主要カリキュラムと行事

---

- ・お茶会の開催
- ・体育指導の実施
- ・寺社仏閣等への参拝
- ・エイサー指導
- ・農業教室（作付けと収穫）
- ・高齢者施設等への訪問
- ・ふなばし市民祭りへの参加
- ・船橋市消防局・船橋警察署・陸上自衛隊習志野駐屯地・海上自衛隊下総航空基地見学
- ・動物園・博物館・美術館への見学
- ・千葉 JETS・千葉ロッテマリーンズ・クボタスピアーズ等プロスポーツチームとの交流
- ・英会話教室
- ・UN SDGs の推進
- ・Kids Ambassador（モンゴル マレーシア）